

## 会 議 録

|   |  |            |    |
|---|--|------------|----|
| 会議の名称   | 令和5年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会   |            |    |
| 開催日時  | 令和5年5月26日(金) 15:00~15:50   |            |    |
| 開催場所  | 上尾公民館 講座室402   |            |    |
| 議長(委員長・会長)氏名  | 上尾市地域創生総合戦略審議会<br>会長 佐藤 徹  |            |    |
| 出席者(委員)氏名   | 佐藤 徹、本田 直子、中込 英久、池上 卓郎、國嶋 亮子<br>樋口 敦、池田 達生、長沢 純、西岡 利浩  |            |    |
| 欠席者(委員)氏名   | 内田 富美代、山浦 瑞穂、宮内 礼子、山田 孝樹、金子 一夫、新道 龍一   |            |    |
| 事務局(庶務担当)   | 行政経営部長 池田 将寛、行政経営部次長 堀部 弘幸<br>行政経営課長 本郷 美代子、行政経営課副主幹 福島 雅也<br>行政経営課主査 沢辺 司、行政経営課主任 志村 佳祐                 |            |    |
| 会<br>議<br>事<br>項  | 1 議 題  | 2 会議結果     |    |
|   | 1 開会<br>2 会議の公開について<br>3 議 題<br>(1) 定住促進アンケート報告書について<br>(2) 企業版ふるさと納税の令和5年度寄附対象事業について<br>(3) その他<br>4 閉会 | 報告・説明と質疑応答 |    |
| 議事の経過   | 別紙のとおり   | 傍聴者        | 1人 |
| 会議資料  | 別紙のとおり   |            |    |
| <p>議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和5年6月19日</p> <p style="text-align: right;">会長の署名 <u>佐藤 徹</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>樋口 敦</u></p> |  |            |    |

## 議 事 の 経 過

|                 |  |
|-----------------|--|
| 司会<br>(行政経営部長)  | <b>1 開会</b><br>まだ、出席予定の池上委員さんがお見えになってございませんが、定刻を過ぎましたので、令和5年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会いたします。<br>私は司会を務めさせていただきます、行政経営部長の池田でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。  |
|                 | 本日の審議会でございますが、8名の委員さんに出席いただいております。条例第6条第2項に規定された定足数である委員の過半数の出席がありましたので、会議が有効に成立していることをご報告いたします。<br><br>この度、3名の委員の変更がありましたので、席順にてご紹介させていただきます。はじめに、上尾市議会議員の長沢純様でございます。   |
| 長沢委員            | はい。よろしくお願いいたします。   |
| 司会              | お願いします。続きまして、埼玉県中央地域振興センター所長の西岡利浩様でございます。  |
| 西岡委員            | よろしくお願いいたします。  |
| 司会              | よろしくお願いいたします。もうひとつは、お見えになった時点でご紹介をさせていただきますが、埼玉りそな銀行上尾支店支店長の池上卓郎様でございます。   |
| 司会              | <b>2 会議の公開について</b><br>次に、次第の2「会議の公開について」事務局から説明いたします。  |
| 事務局<br>(行政経営課長) | 事務局でございます。本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして、同指針策定後の初めての審議会において、原則公開ということで採決されております。本日、ただいま時点で傍聴希望者が1名いらっしゃいますので、傍聴者に入場していただきます。<br><br>【傍聴者入場】<br><br>傍聴される方にお伝えします。お配りした「傍聴要領」を遵守していただき、会議のスムーズな進行にご協力をお願いします。 |
| 司会              | それでは、今後の進行につきましては、条例第5条第2項の規定により、佐藤会長にお願い致します。   |
| 会長<br>(佐藤委員)    | はい。みなさん、こんにちは。議題に入る前に、本日の議事の正確性を証するため、議事録の署名をお願いしたいと考えております。議事録署名人につきましては、出席委員の中から1名、私より指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。<br><br>《異議なしの声》   |

|               |   |
|---------------|---|
| 会長            | はい、ありがとうございます。それでは、本日の会議の議事録署名人を樋口委員さんをお願いいたします。  |
| 樋口委員          | はい。   |
| 会長            | ありがとうございます。   |
| 会長            | <p><b>3 議題</b></p> <p>それでは、お手元の会議次第に沿って議事を進めてまいります。次第3議題(1)定住促進アンケート報告書につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>   |
| 事務局<br>(志村主任) | <p>本日、議題の説明をさせていただきます、行政経営課の志村と申します。よろしくお願いいたします。議題1は、昨年度実施いたしました、定住促進に関する市民向けアンケートの集計結果をご報告するものです。詳しい内容に入る前に、ここ数年の上尾市の転入・転出の状況についてお伝えしたいと思います。</p> <p>補足資料1をご覧ください。資料の上の1番目の表は、ここ5年の上尾市の転入・転出の人数をまとめたものです。例えば、令和4年の行を見ますと、転入9,617人に対して、転出は8,878人、差し引きで739人の転入超過となっています。表に記載されているとおり、過去5年間、上尾市は一貫して転入超過が続いていることが分かります。次に、同じ資料の中段の2番目の表をご参照ください。こちらは、転入超過の数が多い順に、県内の市町村をランキングにしたものです。過去5年分の上位10位までをまとめています。令和元年から令和4年までの直近4年間で、上尾市は常にトップ10入りしているという状況です。まとめますと、上尾市はここ数年、転入超過が続いており、その人数は県内自治体でも上位に位置している状況となっております。</p> <p>続きまして、補足資料2をご覧ください。こちらは昨年度実施した、「定住促進アンケート」の対象者の基礎資料となります。一番上の表は、今回のアンケートでは、昨年3月から8月の6か月間の転入者及び転出者を対象とし、それぞれ700人ずつを無作為に抽出して実施しました。アンケートの回収率は、転入が24.1%、転出が18.7%となっております。年代別の転入者・転出者数、アンケートの抽出数と回答数は下の表にございます。こちらの資料でわかることは、転出と転入と共に、世帯主が20代の世帯が最も多く、続いて世帯主が30代の世帯の順となっております。</p> <p>それでは、資料1をご覧ください。こちらがメインの資料として、昨年度実施の「定住促進アンケート」の結果をまとめた報告書でございます。表紙の次のページをお願いします。本資料は表紙を除き、全部で38ページあります。前半1ページから18ページまでが転出者向けアンケート、後半19ページ以降が転入者向けアンケートのまとめです。</p> <p>1ページ目をご覧くださいながら説明を続けます。<br/>まず、今回のアンケートの目的ですが、こちらは「上尾市地域創生総合戦</p> |

略」に基づき、これまでの定住促進施策の効果検証や、今後の取組の参考材料とするためのものであり、前回は令和2年度にアンケートを実施しました。それでは、報告書の個別の内容に入ってまいります。内容を抜粋してご説明します。はじめに転出者から説明します。

4ページをお願いします。問2では、家族で転出したか、単身で転出したか、世帯の状況を尋ねました。「家族」約52%に対し、「単身」約48%と、ほぼ半々の結果となりました。問3は、ひとつ前の設問で「家族で転出した」と回答した方に、同居の子どもの状況を聞いたものです。おおよそ半数は「同居の子はいない」と回答しており、未就学児のいる世帯は全体の1/4程度にとどまりました。問4は、引き続き「家族で転出した」と回答した方々の、世帯の就労状況をみると、回答者の約50%が「共働きの世帯」と判明しました。

5ページをお願いします。問5では、転出後、どちらに住んでいるかについて尋ねたものです。転出先を市区町村単位で見ますと、隣接するさいたま市に転出した方が28人と全体の約2割を占め、2位以下に差をつけて最も多い結果となりました。

続きまして、6ページをお願いします。ここで1点訂正がございます。申し訳ございませんが、問10の質問文にて「問7の「その他」の内容」と記載がありますが、こちらは「問9の「その他」の内容」の誤りです。誠に申し訳ございませんでした。説明を続けさせていただきます。問9では、転出のきっかけをたずねた設問ですが、「1仕事の都合」で転出したと回答した方が最も多く、特に20代、30代の回答者がこの選択肢を選んでいきます。次いで多かったきっかけは、「3住宅の都合」であり、30代、40代の回答者が選択しておりました。50代以降の回答者の傾向は、40代までの回答者とは異なり、特に60代以降は「家庭の都合」や「その他」を選択することが多い結果となりました。「その他」とは、問10で自由記入欄を設けており、「通院、療養の都合」や「要介護状態になったため」等の理由でありました。

7ページをお願いします。問11は、転出先の自治体を選んだ理由についての設問です。22項目の選択肢の中で「1親族が住んでいる」を選んだ方が全ての年代で最も多く、60代以上と30代で特にその傾向がみられました。

2番目以降に選ばれた理由については年代ごとの傾向があり、20代から40代では「5通勤・通学の利便性の良さ」が選ばれているのに対し、60代以上では「2友人や知り合いが住んでいる」「7買い物の利便性の良さ」「6医療機関が充実している」といった理由が選ばれていました。

この後、8ページの間14から12ページの間26まで、上尾市に住んでいたときの満足度について、4段階で評価していただく設問が続きます。例えば8ページの中段、問15で「日常の買い物の便利さ」をご覧いただくと、「満足」61人、「まあ満足」47人と、9割近い方が上尾市での買い物の便利さには概ね満足していたことが分かります。

ページがとびまして12ページをお願いします。問28では「もし機会があれば、また上尾市に住みたいか」についてたずねています。「1住みたいと思

う」と「2 どちらかというと思いたいと思う」を合わせて約7割の方が肯定的な回答をしており、「住みたいとは思わない」との回答は約1割にとどまりました。さらに、同じページ下の問29では、ひとつ前の設問で、「上尾市にまた住みたいと思う」、「どちらかというと思いたいと思う」と答えた理由について自由記入で回答いただいたものをまとめました。答えた理由をご覧くださいと、「1 住みやすい」からという主旨の回答をしたものが22件ありました。以下の「・」のついている行で、その「住みやすい」とはどのようなことか、個別の意見を記載しています。

13 ページをお願いします。上段には「2 交通の便が良い」との意見をまとめており、電車を利用して都内へアクセスができる旨の意見が多く寄せられました。次の段では、「3 商業施設が充実している」ことが14件、「7 公園が充実している」では、「広い公園がある、公園遊具が充実している、丸山公園が大好き」と公園に対する印象の良さが伺えます。

15 ページの問30以降は、上尾市に対する自由意見として頂いたものをまとめました。1番目に「フルタイム労働者の方が、土曜日開庁を利用して手続きの際に便利だった」と上尾市の行政サービスに対して満足をいただきました。それから、同じ15ページの一番下に「子育てに適している」といった子育て支援や、16ページの23番目に「病児保育の多さ」といった、医療的にケアが必要な子どもの支援に対して好意的な意見が寄せられました。

ページがとびまして19ページをお願いします。ここからは、転入者を対象としたアンケートの結果です。はじめに21ページをお願いします。問2は世帯の状況です。「家族」約56%に対し「単身」約44%と、家族で転入してきた方がやや多いという結果となりました。問3は、ひとつ前の設問で「家族で転入した」と回答した方に同居の子どもの状況を聞いたものです。おおよそ半数が「1 未就学」児がいる世帯でした。先ほどの転出者の家族構成では、『おおよそ半数は「同居の子はいない」と回答』しており、転出者と転入者で家族構成が異なっております。

次の22ページをお願いします。問5では、転入前の住所地についてたずねたものです。以前の住所を市区町村単位をご覧くださいと、上尾市に隣接するさいたま市から転入した方が45人と全体のおおよそ1/4を占めて最も多い結果となりました。県外からの転入は全体の約4割です。先程の転出者の傾向でもお伝えしましたが、隣接するさいたま市への転出や転入が最も多い結果となりました。

23ページをお願いします。問9では、転入のきっかけをたずねた設問ですが、「1 仕事の都合」で転入したと回答した方が最も多い結果となり、特に20代、30代の回答者がこの選択肢を選んでいました。次に多かったのが、「3 住宅の都合」で、特に30代でその項目を選択した方が多くいました。

24ページをお願いします。問11は、転入先である上尾市を選んだ理由についての設問です。21項目の選択肢があります。表右端の合計欄をご覧くださいと、最も多かったのは「5 通勤・通学の利便性の良さ」でした。次に「3 住

|      |   |
|------|---|
|      | <p>宅の価格が手頃であった」、「4 物件が気に入った」という回答が続きます。</p> <p>この後の 25 ページの間 13 から 29 ページの間 25 まで、上尾市に住んでみての満足度について、4 段階で評価していただく設問が続きます。問 14 では、日常の買い物の便利さをたずねた設問であり、「満足」と「まあ満足」と回答した方が全体の 7 割を占めており、転出者や転入者のどちらも、買い物の便利さを実感されていることがわかります。</p> <p>ページが進んで 30 ページをお願いします。問 26 では、家族で転入してきた方に、上尾市の子育て・教育環境の魅力について選択式で尋ねた設問です。表の中心あたり、「13 医療費が 15 歳まで無料（入院医療費は 18 歳まで）」を選んだ方が最も多く、続いて「8 東西に 2 ヶ所ある児童館」「1 子育て世代包括支援センター」が多いという結果になりました。家族で転入された世帯の中で、未就学児がいる世帯が多いことから、子育てに関する回答が多くなっているものと考えられます。</p> <p>32 ページをお願いします。問 32 が最後の設問ですが、上尾市に対する意見があれば記入していただくという、自由記入欄です。先に説明した転出者向けのアンケートでも、最後に同様の自由記入欄を設けていましたが、こちらの転入者向けアンケートの方が、転入してきて現に上尾に住んでいるからということもあるのか、より多くのご意見・ご要望が記入されていました。</p> <p>意見・要望については、グループ分けをして記載しています。例えば、33 ページではごみ処理に関するもの、34 ページでは交通機関や道路環境等に関する意見をまとめています。</p> <p>以上、議題の 1 につきまして、事務局からの説明となります。</p> |
| 会長   | ありがとうございました。  |
| 司会   | 会長、すみません。議事の進行の途中ですが、遅れてきた委員様をここでご紹介させていただいてもよろしいでしょうか。   |
| 会長   | はい。   |
| 司会   | ありがとうございます。今回委員の変更の方々の中の 1 名でございます。埼玉りそな銀行上尾支店支店長の池上卓郎様でございます。  |
| 池上委員 | 埼玉りそな銀行上尾支店、支店長の池上でございます。本日は遅れまして申し訳ございません。こちらの議事に対してしっかり取り組みまして、お役に立てるようにやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。  |
| 司会   | ありがとうございました。  |
| 会長   | それでは、先程の説明につきまして、委員の皆様からご質問、ご意見等を頂戴したいと存じます。  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 池田委員            | 基本的な質問だが、アンケートは毎年実施していたか。また、前回のアンケートの発送者数と回答率を教えてください。   |
| 事務局<br>(沢辺主査)   | アンケートは毎年ではなく、隔年で実施しております。前回のアンケートは、令和2年度に実施しております。前回のアンケートの発送数の内訳は、転出者500名、転入者500名となります。転出者の回答率は22.2%、転入者の回答率は33%となります。  |
| 池田委員            | 前回のアンケートの発送では500名の発送であり、今回の発送数が700名になった理由とは、当初で500名を発送して、追加で200名に発送したということでしょうか。   |
| 事務局<br>(沢辺主査)   | 当初は、転入・転出共に500名を無作為に抽出してアンケートを発送しました。アンケートの対象期間である、令和4年3月から同年8月末日までの半年間に転入・転出と共に各2,000名以上の方が異動しており、そのうち100名ずつの回答が集まると統計上有意性のある数字と想定しました。しかし、転出者の回答数が100名を下回ったため、追加で200名に発送したこととなります。 |
| 池田委員            | 当初、500名に発送した段階で前回よりも回答率が低かったということですか。  |
| 事務局<br>(沢辺主査)   | はい、当初の段階では低かったこととなります。   |
| 会長              | 前回の調査と今回のアンケートの設問内容が異なります。前回よりも詳しく設問を立てており、回答率が下がった可能性があります。   |
| 西岡委員            | アンケートを行った結果、分析して人口の減少を食い止める施策を予定しているのか、予定がある場合はスケジュールを教えてください。   |
| 事務局<br>(行政経営課長) | アンケート結果につきましては、本日こちらの審議会で報告させていただいておりますが、庁内においては4月と5月に庁内幹部に報告しております。アンケート結果に基づいての来年度の予算編成や今後の施策の検討について、現在は具体的なスケジュールは立てられておらず、これから計画することとなっています。                                     |
| 会長              | アンケート調査を行うことが目的ではなく、調査結果を踏まえて既存の事業・施策を見直す必要があるかの確認と、新規事業が必要であれば、どのように事業を立ち上げるのか総合的な検討が大事である。アンケート調査を踏まえて、予算編成前に会議を開催することは考えていないか。  |
| 事務局<br>(行政経営次長) | 私の方からよろしいでしょうか。  |
| 会長              | どうぞ。   |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事務局<br>(行政経営次長) | <p>報告書の中でごみの問題や交通の問題等の幅広い意見があり、先程本郷から申し上げたとおり、庁内で既に説明をしております。その際に、アンケートに記載されていることを各所属にて検討し、必要に応じて予算要求することを口頭にて伝えております。アンケートに寄せられた意見を踏まえたいうでの予算要求を毎年示していこうと思っております。</p>   |
| 副会長<br>(本田委員)   | <p>転入者の集計に関して、「わからない」と回答する方が多い。「わからない」を解決していくことがとても大事だと思います。アンケート 26 ページの問 16 や問 17 の子育て支援は、「わからない」と他の選択肢との数字のひらきが大きく見受けられる。「わからない」と回答した意見に対して、どのように対応していくかが大切であると思います。</p>  |
| 会長              | <p>項目によっては「わからない」が多数派を占める設問もあり、事務局からはいかがでしょうか。</p>   |
| 事務局<br>(行政経営課長) | <p>事務局から報告をさせていただきます。転入直後でないにも関わらず、「わからない」と多く意見を寄せられたことに対して不思議なところもありました。例えば、問 17 の子育て支援の「わからない」と回答した 104 名に関して申し上げます。104 名のうち 64 名については単身で転入してきた方であり、もともとお子さんがいない方がわからないと回答しております。同居の子がいない家族の世帯でも一番回答が多かったのは「わからない」の選択肢でありました。子どもがいる世帯では、「まあ満足」が一番多い結果であり、「わからない」と回答した世帯は 16 件でした。子育て支援につきましては、子育てをしている方にとっては評価できるものの、子育てに関わっていない方にとっては「わからない」と回答せざるを得ない状況であると分析しております。</p> |
| 会長              | <p>属性、家族形態、年代等の違いがあると思います。特に転出者に対するアンケートに関して、回答者の割合が無作為抽出で配布した時の年代別の比率と実際に回答していただいた方の割合が逆転しています。20 代の比率について、配布した層と回答した層は半減しています。逆に 60 代の方が多く回答していただいています。それから、居住年数が重要な点である可能性もあります。そのようなことをクロス集計して、もう少し詳しく検討していかないと既存の事業の見直し等には反映しづらい。</p>   |
| 会長              | <p>それでは続きまして、次第の (2) の方に移って参りたいと思います。企業版ふるさと納税の令和 5 年度寄附対象事業につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事務局<br>(志村主任)   | <p>議題 (2) 企業版ふるさと納税の令和 5 年度寄附対象をさせていただきます。資料 2 に沿ってご説明をさせていただきます。</p> <p>こちらは、令和 5 年度企業版ふるさと納税対象事業一覧でございます。企業版ふるさと納税の寄附対象事業を位置付けるにあたりましては、国が定めたいくつかの条件がございまして、上尾市地域創生総合戦略の内容に事業内容が合致していることや、国からの補助金を受ける事業ではないことなどが</p>   |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>具体的な条件としてございます。</p> <p>本市における令和5年度の新規・拡充事業を中心に、定められた条件によるふるいかけを行いまして、事業一覧としてまとめたものが今回お示ししている資料でございます。令和5年度は、資料左端に事業ごとに番号を振ってございますが、一覧にある14の事業を対象に、市外の企業からの寄附を募ってまいりたいと考えております。</p> <p>今後、この一覧表を市のホームページで公表して寄附を募る予定でございます。事務局からの説明は以上です</p> |
| 会長              | <p>それでは、先程の説明につきまして、委員の皆様からご質問、ご意見等を頂戴したいと存じます。</p>  |
| 池田委員            | <p>明日を担う人が育つまちづくり事業の中で、教育総務課の⑥民間スイミングスクールを活用した水泳事業モデル事業と⑦中学校特別教室冷風機設置事業に対して寄附を募ると理解したが、どういう意図があるのか教えていただきたい。</p>   |
| 事務局<br>(沢辺主査)   | <p>14の事業を掲載しており、選定の過程をご説明します。まず、企業版ふるさと納税として扱って良い対象の事業か、例えば国からの補助を受けていない事業や、以前から行っている事業で維持管理としての事業は対象外である等を考慮し、新規拡充の要件も当てはまるように総合的に判断して事業を選びました。</p>   |
| 池田委員            | <p>判断されたのはどちらの部署でしょうか。</p>   |
| 事務局<br>(行政経営課長) | <p>行政経営課でとりまとめ、庁内で了承を得ております。</p>   |
| 会長              | <p>各課に照会をかけられて、行政経営課がまとめられたということでしょうか。</p>   |
| 事務局<br>(沢辺主査)   | <p>数多くある市役所の事業の中から行政経営課にて事前に選別しました。その後各事業の担当課に相談して、先方の了承を得て掲載をしました。</p>  |
| 池田委員            | <p>全国から募集を募り、表に記載されている金額を集めたいという趣旨ですね。わかりました。</p>  |
| 樋口委員            | <p>昨年と比較して事業数が増えており、いいことだと思うが、前回の寄附ベースで申し上げると数社のみ寄附しかなかったと把握しております。事業数が増えても、寄附額を増やしていくような取り組みというのが重要ではないかと思えます。今後の取り組みについてお伺いしたいです。</p>  |
| 事務局<br>(行政経営課長) | <p>今年度の寄附の募集にあたりまして、寄附先の企業を探す事業所に委託をする予定です。寄附を集めた際は、一定割合の成果報酬として委託料を支払</p>   |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | うという仕組みであり、新たな寄附の獲得を目指すこととしています。   |
| 会長              | 樋口委員、よろしいでしょうか。  |
| 樋口委員            | はい。  |
| 会長              | 功を奏するとよろしいですね。他にございますか。では、西岡委員どうぞ。   |
| 西岡委員            | 寄附が集まっても集まらなくても、こちらに記載している事業は実施するものと理解してよろしいでしょうか。   |
| 事務局<br>(行政経営課長) | クラウドファンディングとは違い、こちらに記載している事業は実施します。事業を実施するにあたり、歳入をどのように確保するかというのがポイントとなります。  |
| 会長              | 他にございますか。もしなければ、この件につきましてはこれで閉じさせていただきます。よろしいですかね。   |
|                 | それでは、議題の(3)その他に移ってまいりたいと思います。事務局から何かありますか。   |
| 事務局<br>(行政経営課長) | 事務局からご案内があります。審議会の委員様につきましては、任期が令和5年7月9日までとなっております。今後のスケジュールを考えますと、このメンバーでの会議は今回が最後であり、次回は8月以降を予定しています。また、委員の改選にあたりまして、それぞれの団体等にもご案内させていただく予定ですが、基本的には皆様にこのまま留任させていただくと此方としては有難いかなと思います。<br>あと、会議の開き方につきましては、昨年度はリモートという形で開きました。今回はアンケートの報告であり、説明が難しい部分もあったので対面とさせていただきますが、次回以降については、会議の内容等を踏まえながら形態を決めていきたいと思っております。以上でございます。 |
| 会長              | これで一通り議題が全て終わりました。進行を事務局にお返ししたいと思います。  |
|                 | <b>4 閉会</b>  |
| 司会              | 佐藤会長、ありがとうございました。それでは最後に本田副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。  |
| 副会長             | はい。お疲れ様でした。今回はアンケートの報告が中心でございました。やはり、一般の方々の意見やデータは大変貴重なものだと思っています。そういうことを活かして展開していけば上尾市のイメージアップになり、定住促進につながっていくと改めて思いました。委員の皆さんの意見をいただきながら、今後もよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。<br>以上   |